

【アメリカ】米太平洋軍及び在韓米軍に関する上院公聴会

海外立法情報課 新田 紀子

* 2014年3月25日、上院軍事委員会は、2015会計年度米国防予算の検討における米太平洋軍及び在韓米軍に関する公聴会を、両軍の司令官を証人として開催した。

1 在日米軍再編・普天間基地移設

カール・レヴィン（Carl Levin）上院軍事委員長（ミシガン州、民主党）は、冒頭発言で、普天間基地移転先の埋立て許可申請が承認されたが、グアムのインフラ施設の建設は、最終的な環境影響評価書などを待たなければならない、また、在沖縄海兵隊のグアム・ハワイ移転を支持するが、移転は、財政かつ実施面で健全な方法で実施される必要があると述べた。質疑応答では、①普天間基地の移設予定先であるキャンプ・シュワブの施設建設期間として10年は妥当か、さらに、②日本政府と海兵隊は、移転完了まで現在の普天間基地を十分に維持する責任を持っているかについて尋ねた。サミュエル・ロックリア（Samuel Locklear）米太平洋軍司令官は、埋立て許可申請の承認を歓迎するが、移転実現には別の措置が必要であること、日本政府などはもっと早い完成を望んでいるが、全ての概算によれば、10年は妥当であること、また、現在、普天間基地が安全かつ十分に運用できるような財源は整っていると答えた。

2 尖閣諸島

レヴィン委員長が、中国が東シナ海に設定した防空識別圏（ADIZ）は、尖閣諸島に関する日中それぞれの主張に関連し、日中間の現状（status quo）を変更させたのかと尋ねたのに対し、ロックリア司令官は、米軍は運用を変えていない、ADIZを認めず、また従わないと述べ、同盟国の活動、自衛隊の活動にも変更は見られないと答えた。

ジョン・マケイン（John McCain）上院議員（アリゾナ州、共和党）が、尖閣諸島をめぐる日中間の衝突の可能性を尋ねたのに対し、同司令官は、仮定の質問には回答を控えたいと答えたが、重ねて、中国の多くの行動は非常に挑発的ではないかと尋ねられ、挑発的であり、多くの場合、現状を変更しようとする試みであると答えた。リンジー・グレーム（Lindsey Graham）上院議員（サウス・カロライナ州、共和党）が、中国の視点で考えた場合、尖閣諸島をめぐる衝突の可能性はあるかと尋ねたのに対し、同司令官は、両国間で問題が適切に管理されない場合、誤算が生ずる潜在的可能性は高く、非常に危険である、しかし、今後短期間に衝突する方向にあるとは思わないと述べた。ティム・ケイン（Tim Kaine）上院議員（ヴァージニア州、民主党）が、尖閣諸島の問題は、同諸島が無人のために混乱があると述べ、日中間の争いは、天然資源がないならば、経済資源についてではなく、国家の威信、シー・レーンの支配あるいは、中国による緩衝地帯の創設をめぐるものであろうかと尋ねたのに対し、同司令官

は、第一に経済よりも主権の問題であり、米国は領有権紛争で一方を支持する立場をとらないが、日本は米国の同盟国であり、[尖閣諸島をめぐる問題において、] 米国が同盟国を支持することについてはかなり明らかにしていると述べた。アンガス・キング（Angus King）上院議員（メイン州、無所属）が、中国のADIZ設定を米国のインテリジェンスによって事前に承知していたかと尋ねたのに対し、同司令官は、中国がかなりの間、検討していたことは承知していたが、設定時期などについて兆候はなかったと答えた。同議員が、タイミングが問題だったのかと尋ねたのに対し、同司令官は、受け入れがたいのは、そのやり方であり、設定した際の[民間航空機の飛行計画提出などの]追加の警告であるとし、地域や近隣国と話し合いをすることなく、日本との尖閣諸島問題を直接の契機として設定されたと考える旨答えた。

3 リバランスと海軍戦力

ジム・インホフ（Jim Inhofe）上院軍事委員会共和党筆頭委員（オクラホマ州）より、リバランスにより、アジア太平洋地域の米国艦船の配備数が、全艦船の50%の150隻から60%の180隻に増えるとされていたが、予算の一律削減措置などにより、結局150隻になるというが、日本や韓国や豪州などの同盟国はこうした事情を理解しているのかと尋ねたのに対し、ロックリア司令官は、同盟国は、米国の国防予算の行方を注視していると答えた。同議員は、中東では、米国の友人は米国を信頼せず、敵は米国を恐れない、アジア太平洋地域でも同じ状況になるのではないかと考え始めたと言った。

4 中国の海洋戦略

マケイン議員は、中国は、少なくとも西太平洋における勢力均衡状態を変えようとして行動しているのではないか、それを東シナ海でのADIZの設定や空母の調達など、漸進的な（incremental）方法で実行しているのではないか、中国の戦略は、この地域における自国の影響力と優勢を主張することなのかと尋ねたのに対し、ロックリア司令官は、然り、彼らの海洋戦略は明確であり、それを隠そうとしていない、そしてその方法は漸進的であると答えた。

5 海外基地関連の契約・調達の腐敗・無駄の防止

リチャード・ブルメンソール（Richard Blumenthal）上院議員（コネティカット州、民主党）は、米国艦船を海外基地よりも国内基地に配備する方が、雇用だけでなく、契約・調達の汚職・無駄を監視できるのではないかと発言した。ロックリア司令官は、海洋戦力の前方展開の利点に言及しつつ、日本との関連では、費用の支出方法について非常に慎重な対話を行っていると言った。

参考文献（インターネット情報は2014年6月18日現在である。[]は筆者による補足。）

- ・ 上院軍事委員会の公聴会の模様 <<http://www.armed-services.senate.gov/hearings/14-03-25-us-pacific-command-and-us-forces-korea>>